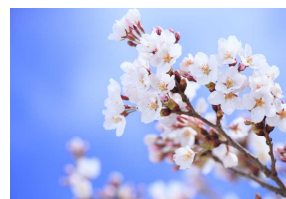


2017 春のシンポジウム



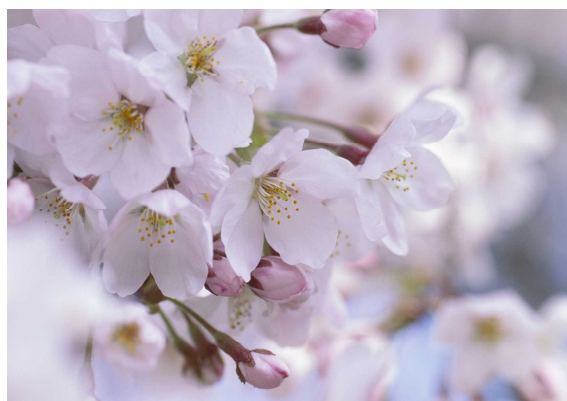
テーマ：「謝罪と赦罪」

日時 2017年5月14日(日)13時～
場所 日本聖公会 川越キリスト教会
講師 遠藤 徹氏 横浜山手聖公会信徒
「ナザレ研修会」会長
元聖心女子大学教授

著書 『〈尊びの愛〉としてのアガペー』(教文館、2015年)
『人格と性 - 結婚以前の性の倫理』(聖公会出版、2000年)

最近の研究 アガペー研究

遠藤徹氏は2016年10月、単独で初訪韓しました。毎週水曜日にソウルの日本大使館前に設置されている「慰安婦少女像」の前で日本軍『慰安婦』問題解決のために全国行動をしている集会に出ました。そこに元慰安婦にさせられたご婦人が二名おられました。その方々に深々と頭を下げ、手をついて謝罪してきました。メディアは一斉に報じ、韓国市民から驚きと賞賛の声が上がりました。「安倍総理はこの方から教わるべきだ」「日本人にこんな立派な人がいる。韓国も見習うべきだ」「これこそ求める誠意ある謝罪だ」「日本人皆が悪者ではない」などと反響は大きく広がりました。



本当の謝罪とは、また赦罪することは神学的にどのように考えられるでしょうか。

主催

川越キリスト教会・宣教部